



水稻 (福井米)

病虫害防除速報

カメムシの発生に注意!!

大雨で冠水した圃場の防除!!

J A 福井県
福井基幹支店

7月の水田畦畔における斑点米カメムシ類の生息密度は、全体として平年より多くなっています。現在、ハナエチゼンは傾穂期、今後、コシヒカリについては出穂期を迎えます。出穂とともに、カメムシ類の水田内への侵入量も増加するので、穂揃期と糊熟初期の2回防除を徹底しましょう。

1. カメムシ

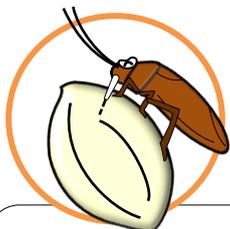
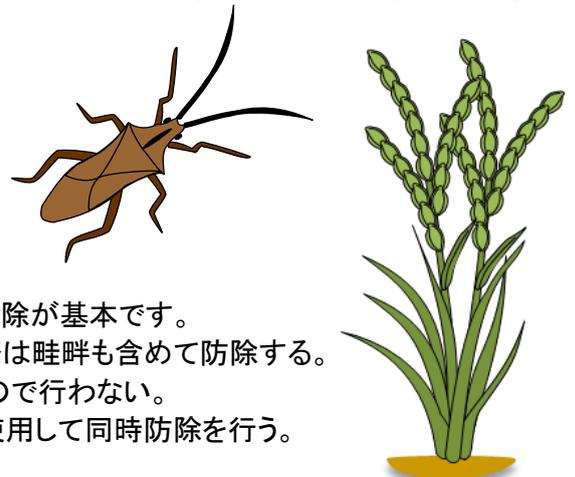
【発生予報】

- 発生量: 平年、前年並みで多い
- 発生時期: 加害最盛期は8月上旬

【防除対策】

- 薬剤防除は、第1回目が穂揃期、第2回目が糊熟初期の2回防除が基本です。
- カメムシ類は、水田の畦畔雑草地にもいるので、本田防除の際は畦畔も含めて防除する。
- 出穂後の草刈りは、カメムシ類の水田内への侵入を助長するので行わない。
- ニカメイガが多い地域では、ニカメイガにも登録のある農薬を使用して同時防除を行う。

【カメムシ類防除薬剤】



斑点米はカメムシがモミに口吻を突っ込み唾液で、子実を溶かして汁を吸い上げる。その傷跡にバクテリアやカビなどがついて変色し『斑点』ができる。

防除時期	区分	薬剤名	収穫前日数
第1回目: 穂揃期 (出穂3~5日後頃)	粉剤	スタークル粉剤DL★	7日前
		ダントツH粉剤DL★	7日前
		トレボン粉剤DL★	7日前
第2回目: 糊熟初期 (出穂10~14日後頃)	液剤	ダントツフロアブル	7日前
		スタークル液剤	7日前
	粒剤	トレボンスターフロアブル	14日前
		キラップ微粒剤F サジェスト微粒剤	14日前 21日前
粒剤は薬剤によって散布適期が異なります。粒剤の散布時は水深3cm程度の湛水状態とし、自然落水する。			

2. 大雨、冠水圃場の防除

【発生】

- 7月29日、大雨により管内の一部で水稻圃場が冠水しました。出穂後のハナエチゼンや、走り穂のコシヒカリが水没した場合、雑菌による穂の不稔が懸念されますので殺菌剤で防除を行いましょう。

【防除対策】

- 殺菌剤による防除(落水後、天候回復をみて速やかに実施)

	区分	薬剤名	収穫前日数
粉剤	殺菌剤	ブラシン粉剤DL	7日前
	殺菌殺虫剤	チームワーク粉剤DL	14日前

適期防除で収量・品質向上を目指しましょう。病虫害防除速報は『北部支店』が担当しました。